



諸外国からみれば、日本です。富士山(フジヤマ)・芸者といえ、日本の代名詞でもありました。

21世紀は海外から買物に來日される人々が増加傾向にあり、温泉を旨とする人は極少数派のようです。現代は文化芸術をいかに大衆のものとして提供するかが問われているのであり、創意・工夫・改革を潤滑油として機能させ、観光都市熱海の発展に寄与するといふ相互理解が基本にあるべきではないでしょうか。

観光都市熱海にとつて、既存文化は観光活性化に貢献しているのでしょうか。求められる熱海らしい文化とはどのようなものなのか。伝統的な観光文化として温泉・芸者・花火を一つのパターンと

する基本概念がありませんが、これらを文化としてとらえることにも賛否が伴います。観光都市熱海への来訪客減少は、限られたパターンへの離別現象なのかもしれません。

文化を象徴する美術館としてMOA美術館がありますが、経営母体は熱海市ではありま

中井 正勝

外国人客に
文化芸術を



ては、多額の財政支出も余儀なくされていることを忘れてはなりません。池田満寿夫邸と下多賀の工房は市が寄贈を受け、文化施設として開放しています。04年、女性篤志家の資金提供を受け、熱海市が民間企業保養所を取得し、その後市文化財に指定。06年に国の重要文化財に指定されたこの建築物こそ、旧日向別邸です。

喜んではかりはうれしません。建築物の欠点は、維持管理に相応の財政投資が責務となります。た

とえ文化財であれ、「自独維持管理」によって運営されなければなりません。

まず、熱海市民の皆さんに貴重な文化財を見ていただき、活用の意義を理解していただければ幸いです。

(旧日向別邸保存会会長) 起雲閣取得にあつ